新潟工科大学 機械力学研究室-2019

●研究スタッフ・連絡先

教授:門松　晃司　　E-mail／k.kadomatsu@mce.niit.ac.jp　　Tel:0257-22-8171

●概　要

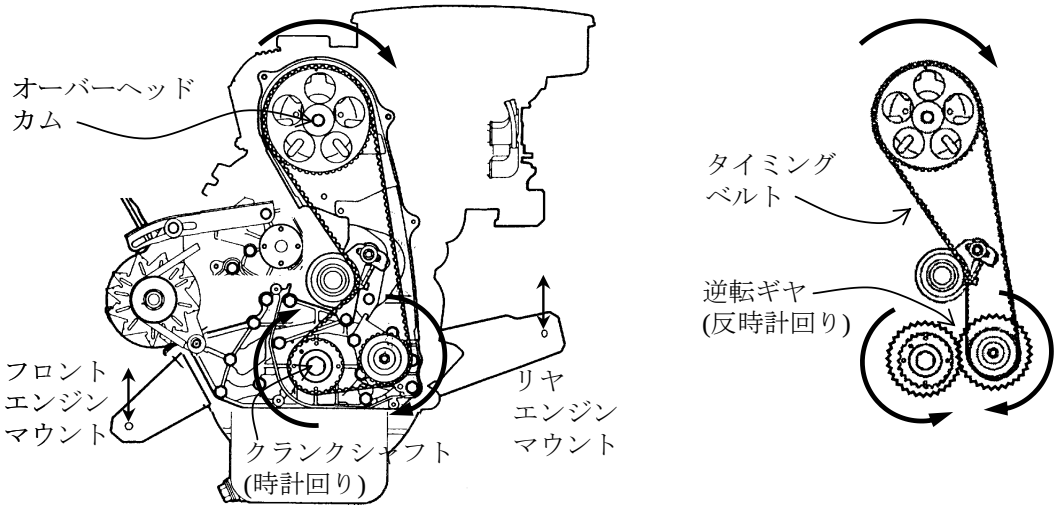
自動車技術会振動騒音部門委員会に参加し，日本の自動車関連会社のトップエンジニアと共に振動騒音技術の発展・向上・人材育成に取り組んでいます．

2017年の卒業研究として，学生フォーミュラカーを設計製作し，自動車技術会主催の全日本学生フォーミュラ大会EV部門にエントリーしました．

●研究内容

例えば，エンジンのクランクシャフトが回転する方向により，アイドル振動に与える影響を研究した(2004).

詳細他参照：https://researchmap.jp/niitmce_KK



写真は，新潟工科大学チームが設計製作したNT17型EVフォーミュラカー．

大会会場(静岡県エコパ)にて車検の準備中．チームメンバーが電装品のチェックをしている．

新潟工科大学 機械力学研究室-2019

●研究スタッフ・連絡先

教授:門松　晃司　　E-mail:k.kadomatsu@mce.niit.ac.jp　　Tel:0257-22-8l7l

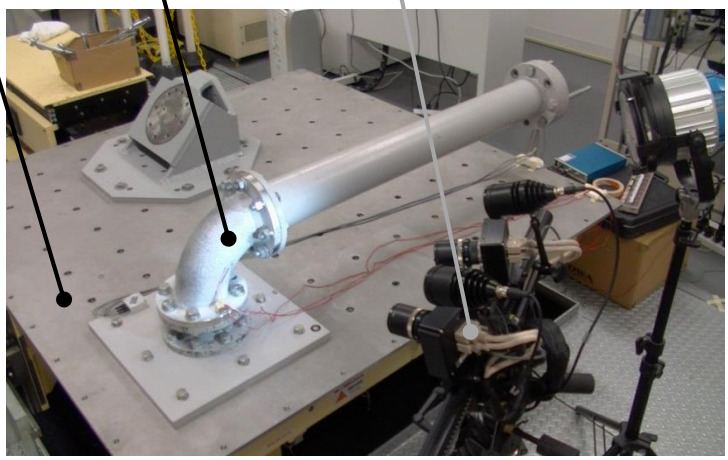
●概　要

本学3次元振動台を用いて、耐振性に関する基礎研究に取り組んでいます。
原子力発電所配管系の構造的耐震性を調査・研究し、地震発生時における安全設計に反映できる技術を研究しています。

又，電子機器・電気設備の耐震性を試験・評価しています。 加振試験には正弦波加振と実地震波加振があり，本学振動台ではどちらも可能です。

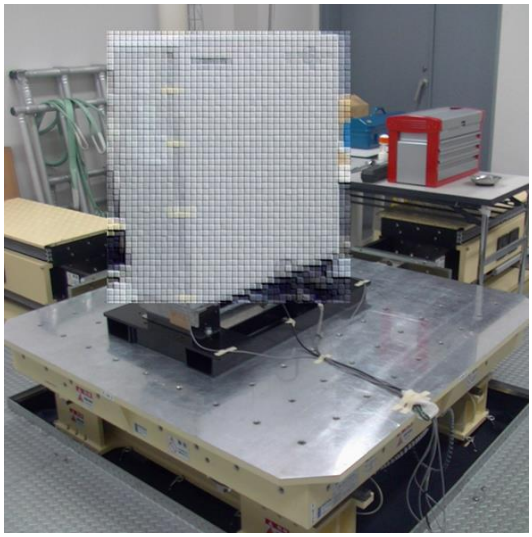
●研究内容

原子力配管系の耐震性を試験・研究 (2011～2012)

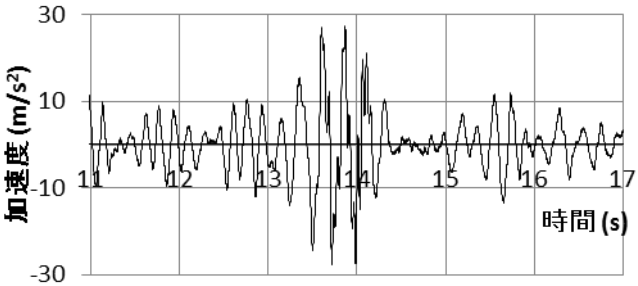


3次元振動台は、電動式加振器を3方向に配置して、振動台を並進3方向に独立に揺らせることができます。
正弦波や測定された実地震波をコンピュータに入力し、振動台を揺らせて、配管試験体のひずみや挙動を観察・測定します。

電子機器や電気設備の耐震性を試験・評価 (2014～　　)



3次元振動台は最大27m/s^2 の加速度を発生させることができ，電子機器や電気設備の耐震性を試験・評価しています。



東北地方太平洋沖地震 宮城県築館 (2011/3/11)